

内科

腫瘍内科

TEL 022-717-7879(外来)

完全予約制

科長 石岡 千加史



診療科WEB



外来担当医表

私たちの腫瘍内科は、主に進行・再発のがん患者さんを対象として、がん薬物療法とその副作用および合併症に対する支持療法を担当する診療科です。対象疾患は消化器系の悪性腫瘍やその他の臓器や希少がん・難治がんなどで、それらに対するがん薬物療法を中心とした治療を積極的に行っています。

2018年2月、当院はがんゲノム医療中核拠点病院に指定され、がんゲノム医療の東北地方の拠点になりました。当科は院内関連診療科と連携病院と協力し、がん遺伝子パネル検査(別名、がんゲノムプロファイリング検査)のエキスパートパネル(最終診断のための専門家会議)を主催し、がんのゲノム検査の結果に基づいた診療、臨床研究、治験を実施しています。

当科の外来診療は東病棟4階(診察室5室)で、入院診療は西病棟16階(病床数26床)で行っています。また、治療の多くは外来に隣接する化学療法センターで実施しています。当院の化学療法センターは全国大学病院中で最大規模(35床、年間約16,000件の治療)であり、当科はその運営の一翼を担います。専門性の高い看護師や薬剤師等のスタッフのもと、安全かつ快適に治療を受けていただけます。

主な対象疾患

消化器がん

(食道、胃、大腸、肝・胆・膵、消化管間質腫瘍)

頭頸部がん

骨軟部腫瘍

細胞腫瘍悪性黒色腫瘍

神経内分泌腫瘍

原発不明がん

上記以外の希少がん・難治がん

特定遺伝子に変異を有するがん

遺伝性腫瘍・家族性腫瘍

その他の悪性腫瘍全般